

チャレンジ！脱炭素

～カーボンニュートラルを実装した都市をめざして～

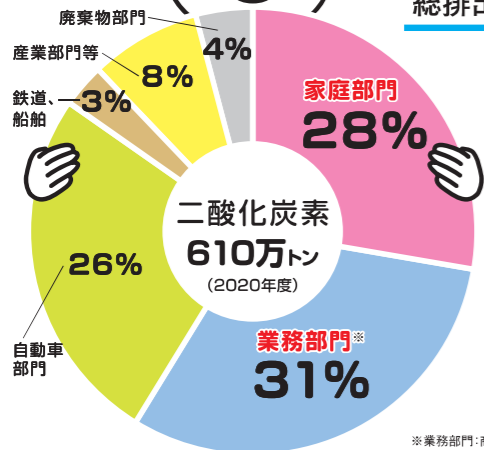
編集・発行：福岡市環境局脱炭素社会推進課 〒810-8620 福岡市中央区天神1丁目8番1号 TEL 711-4282 FAX 733-5592

福岡市の目指す姿

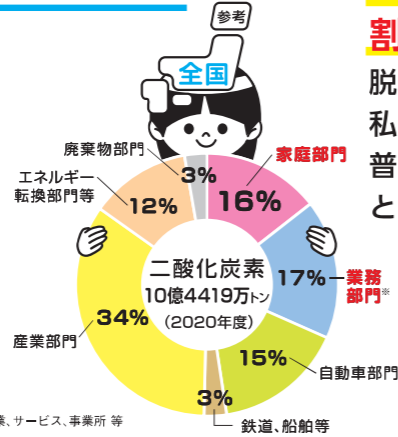
※脱炭素(カーボンニュートラル)とはCO₂などの温室効果ガスの排出量と森林保全などによる吸収量を等しくして、全体でプラスマイナスゼロにすることです。



部門別二酸化炭素総排出量(推計)内訳



*業務部門：商業、サービス、事業所等



福岡市は全国的に見て、**家庭部門や業務部門の割合が高い**ことがわかります。脱炭素社会の実現には、私たち一人ひとりの普段の生活での行動がとても大切です。



経済的で快適な脱炭素型ライフスタイルは次ページで！

温室効果ガス排出量実質ゼロ(脱炭素社会)をめざした動き

世界
パリ協定において「21世紀後半に世界全体で温室効果ガスの排出を実質ゼロにする」ことをめざし、各国で取組みが進められています。

日本
「2050年までに脱炭素社会の実現をめざす」という方針のもと、「2030年度の温室効果ガス排出量を46%削減(2013年度比)」という目標が示されました。

福岡市
世界や日本が目指す脱炭素社会の実現に積極的に貢献するため、「2040年度温室効果ガス排出量実質ゼロ」の実現を目指す取組みを行っています。

カーボンニュートラルパッケージ

福岡市は市民・事業者向けの補助事業「カーボンニュートラルパッケージ」の取組みを進めています。

市民向けメニュー

メニュー	事業内容	主な補助対象、補助額等
① 住宅用エネルギーシステムの導入補助	家庭でエネルギーをつくらため、ためて消費する「自家消費型のシステム」の導入を推進するため、住宅用エネルギーシステムの設置費用の一部を助成します。	<ul style="list-style-type: none"> ●住宅用太陽光発電システム(戸建住宅) …… 2万円/kW(上限10万円) ●住宅用太陽光発電システム(集合住宅) …… 2万円/kW(上限60万円) ●リチウムイオン蓄電システム …… 機器費の1/2(上限40万円) ●V2Hシステム …… 機器費の1/2(上限20万円) ●家庭用燃料電池(エネファーム) …… 定額5万円
② 電気自動車・燃料電池自動車等の購入補助	ガソリン車から電気自動車等への移行を推進するため、電気自動車・プラグインハイブリッド自動車・燃料電池自動車の購入や、電気自動車用充電設備の設置費用の一部を助成します。	<ul style="list-style-type: none"> ●電気自動車 …… 10万円 ●さらに 再生可能エネルギー由来電力で充電を行う電気自動車は補助額に5万円加算 ●プラグインハイブリッド自動車 …… 5万円 ●燃料電池自動車 …… 60万円
③ 充電設備設置補助		<ul style="list-style-type: none"> ●急速充電設備 …… 上限100万円/基 ●普通充電設備 …… 上限100万円/施設 ※集合住宅向け(1基あたり上限20万円)
④ ECOチャレンジ応援事業	電気・ガスの使用量の削減や、省エネ家電の購入など身近な脱炭素行動(エコアクション)を実施して最大5,000円相当のエコチャレポイントをゲットしよう！交通系ICカードのポイントに交換できます。	<ul style="list-style-type: none"> ●エコアクション 《取組必須》うちエコ診断WEBサービスの利用 初回キャンペーン対象者のみ1,000ポイント 《選択》21のエコアクションから1つ以上 再生可能エネルギー由来の電力購入 …… 最大2,000ポイント 電気・ガス使用量の削減 …… 各最大1,500ポイント 地域産農水産物の購入(福岡県内産) …… 最大1,500ポイント 省エネ家電の購入 …… 10,000ポイント(先着150世帯(福岡市)等)

事業者向けメニュー

メニュー	事業内容	主な補助対象、補助額等
⑤ 事業所のPPAによる再エネ設備導入支援事業	事業所の温室効果ガス排出量削減と再生可能エネルギーの導入を推進するため、PPA(電力購入契約)による太陽光発電設備の設置費用の一部を補助します。	●発電出力1kW当たり2万円(上限40万円)
⑥ 事業所の省エネ設備導入支援事業	事業所の省エネルギーの取組みを推進するため、省エネルギー設備への更新費用の一部を補助します。	●機器導入費用の1/3を補助(上限100万円)
⑦ 脱炭素建築物誘導支援事業	ゼロエネルギー・ビル(ZEB)やゼロエネルギー・マンション(ZEH-M)の建設に係る設計費を定額補助します。	<ul style="list-style-type: none"> ●ゼロエネルギー・ビル(対象：オフィスビル等) 延床面積：300㎡以上2,000㎡未満 …… 150万円 2,000㎡以上 …… 300万円 ●ゼロエネルギー・マンション(対象：マンション等) 延床面積：300㎡以上2,000㎡未満 …… 60万円 2,000㎡以上 …… 100万円

お問い合わせ・お申し込み先

- ① 福岡市住宅用エネルギーシステム導入支援事業補助金交付事務局 TEL 692-7117 FAX 662-0424
- ②③ 福岡市環境局 脱炭素事業推進課 TEL 711-4204 FAX 733-5592
- ④ ECOチャレンジ事務局 TEL 262-0456 FAX 262-0445
- ⑦ 福岡市環境局 脱炭素社会推進課 TEL 711-4282 FAX 733-5592

住宅省エネ2023キャンペーン(国の制度)

2050年カーボンニュートラルの実現に向け、家庭部門の省エネを強力に推進するため、住宅の断熱性の向上や高効率給湯器の導入等による住宅の省エネ化を支援するものです。

こどもエコすまい支援事業：高い省エネ性能を有する住宅の新築、開口部の断熱改修等のリフォーム

先進的窓リノベ事業：窓の断熱改修工事

給湯省エネ事業：高効率給湯器の設置

お問い合わせ ナビダイヤル TEL 0570-200-594

住宅省エネ2023キャンペーン 検索

「エコ・ウェイブ・ふくおか会議 行動宣言2023」

- 宣言 その1 省エネ・高効率型の機器・設備の積極的な導入や再生可能エネルギーの活用を進めます。
 - 宣言 その2 通勤時のマイカー利用を控えるなど、公共交通機関の利用を推進するとともに、業務用車両への電動車の導入や、運転時のエコドライブを心がけます。
 - 宣言 その3 デジタル化の推進、エコスタイルによる冷暖房の適正な温度設定、2UP3DOWN運動などエレベーターの効率的な利用、休み時間の消灯など省エネ・省資源に取り組みます。
 - 宣言 その4 温暖化対策の意識や行動を、私たちの家族、グループ会社・関連団体のみならず、福岡のまち全体に、あらゆる機会を通じ、拡げていきます。
- エコ・ウェイブ・ふくおか 検索

福岡市環境局脱炭素社会推進課
TEL 711-4282 FAX 733-5592
E-mail /datsutanso-shakai.EB@city.fukuoka.lg.jp



3 さあ、今日から **脱炭素型** ライフスタイルへ

脱炭素型ライフスタイルは、二酸化炭素の削減と **経済的で快適な生活** につながります。

2030年度に向けてのCO₂排出量削減目標
年間 **470kg** / 世帯

くらしの中に
できる取組みが
いろいろあるよ



環境シンボルキャラクター
「エコパ」



ZEH (ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス)
ZEH-M (ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス・マンション)
住宅の高断熱化、省エネ、太陽光発電の利用により、
年間のエネルギー消費量が実質ゼロの住宅のことです。

節電 4ページ 4

太陽光を取り入れ、使わない電気は消しましょう。

CO₂削減効果 13kg -CO₂/年 DOWN

暮らしのメリット 電気代 1,044円/年節約

※照明、テレビの使用時間を1時間削減し、
エアコンのフィルターを月に1~2回清掃
した場合

詳細はこちら

再生可能エネルギーの利用 4ページ 1 4

太陽光発電設備や蓄電池の導入。または、再生可能エネルギー由来
電力へ切り替えましょう。

CO₂削減効果 858kg -CO₂/年 DOWN

暮らしのメリット 電気代 90,616円/年節約

※太陽光発電設備を設置した場合

詳細はこちら

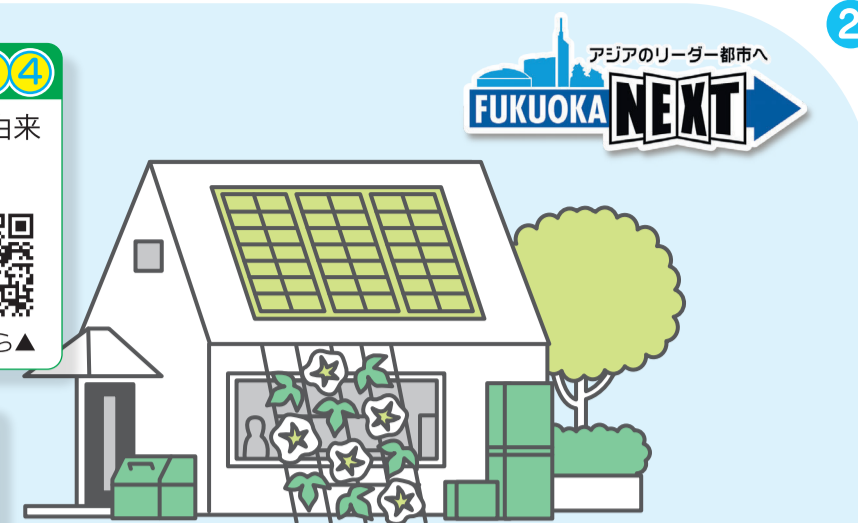
再配達抑制 4ページ 4

不在による再配達の頻度を減らし、配送用の自動車から
排出されるCO₂の削減につなげましょう。

CO₂削減効果 16.6kg -CO₂/年 DOWN

暮らしのメリット 再配達を依頼する必要がなくなり、
ストレスがなくなる

※月に3回の再配達をなくした場合



住宅窓の改修 4ページ 4 5

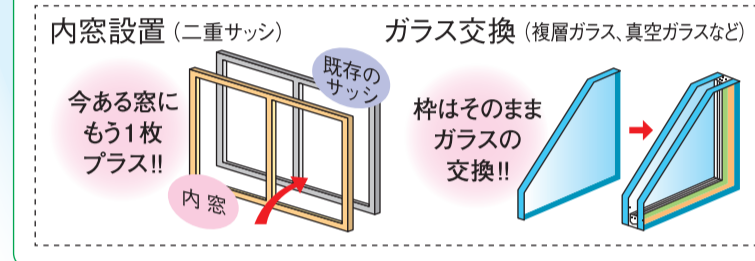
★熱の出入りの50%以上は窓などから
冷暖房の効果を向上させて、光熱費を削減しましょう。

CO₂削減効果 149kg -CO₂/年 DOWN

暮らしのメリット 電気代 12,096円/年節約

※戸建住宅の場合

詳細はこちら



オンライン手続き

移動に伴うCO₂の排出を減らしましょう。

CO₂削減効果 16kg -CO₂/年 DOWN

暮らしのメリット ガソリン代 1,007円/年節約

※片道5km、年間12日の車を利用した申請をオンラインにした場合

暮らし

省エネ家電の購入 4ページ 4

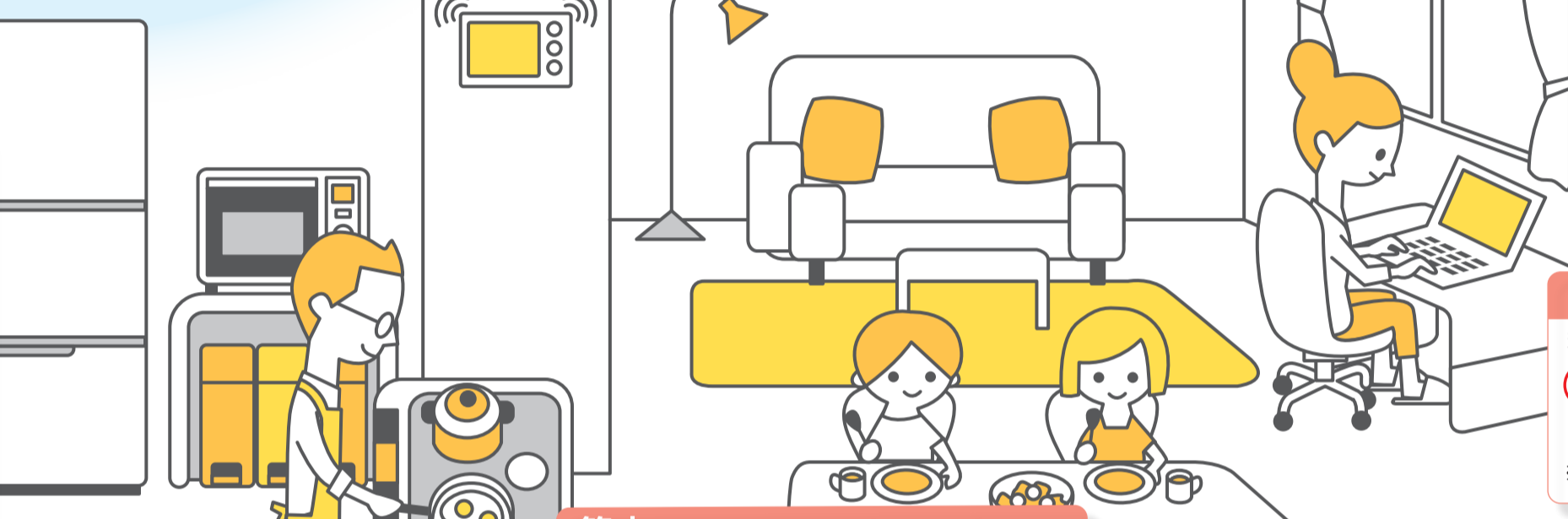
省エネ基準達成率が高いものを選びましょう。

CO₂削減効果 43kg -CO₂/年 ~ 58kg -CO₂/年 DOWN

暮らしのメリット 電気代 約 5,300円/年 ~ 約 7,160円/年節約

※2011年製冷蔵庫(401~450L)を2021年製の
高性能機種に買い替えた場合

2022スマートライフおすすめBOOK



移動

電気自動車等の購入 4ページ 4

走行時にCO₂を含む排ガスを出さない、電気自動
車や燃料電池自動車に乗りましょう。

CO₂削減効果 800kg -CO₂/年 DOWN

暮らしのメリット 燃料費 52,900円/年節約

※年間10,000km走行した場合
(ガソリン自動車と電気自動車の比較)

詳細はこちら

ごみの減量

レジ袋や使い捨てスプーンはもらわないようにしましょう。雑がみ
などの資源物は資源物回収ボックスに持って行きましょう。生ごみ
は堆肥化しましょう。

CO₂削減効果 41kg -CO₂/年 DOWN

暮らしのメリット ごみ袋代 798円/年節約

※1人1日に100gのごみを減らした場合

詳細はこちら

節水

節水グッズを使いましょう。

CO₂削減効果 120kg -CO₂/年 DOWN

暮らしのメリット 水道代 13,260円/年節約

※節水シャワーヘッドと
節水アダプタを導入した場合

詳細はこちら

食品ロスの削減 4ページ 4

食材は必要な分だけ買いましょう。

CO₂削減効果 84kg -CO₂/年 DOWN

暮らしのメリット 食費 17,217円/年節約

※食品ロスを半分に減らした場合

詳細はこちら

エシカル消費 4ページ 4

環境、人、社会、地域等に配慮したものやサービス
を選んで消費しましょう。

CO₂削減効果 30g -CO₂/年 DOWN

暮らしのメリット 環境に配慮した商品・
サービスの多様化や価格低減につながる

ライフサイクル全体をとおして
環境負荷が少ない

適切に管理された森林の木材
が使用されている

エコマーク
FSC
ロゴマーク

※年間で使用する洗剤(2,800ml)のうち、本体購入を年1本
として、それ以外を詰め替え製品にした場合

カーシェアリングサービスの利用 4ページ 4

CO₂削減効果 491kg -CO₂/年 DOWN

暮らしのメリット 149,247円/年節約

※走行距離が37%削減した場合のCO₂削減効果、及び
自家用車を手放しカーシェアリングを利用した場合の
暮らしのメリット

詳細はこちら

サステナブルファッション 4ページ 4

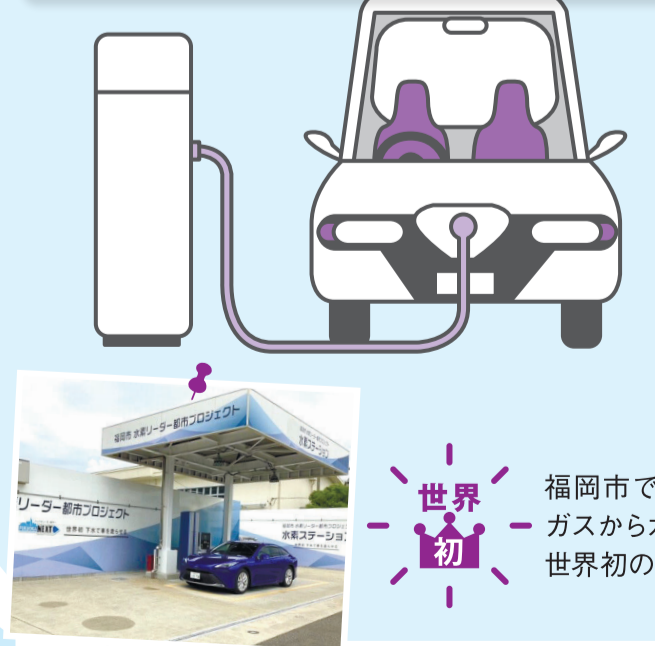
今持っている服を長く大切に着ましょう。また、購入する際は、長く着られる服
や環境に配慮した服を選びましょう。

CO₂削減効果 223kg -CO₂/年 DOWN

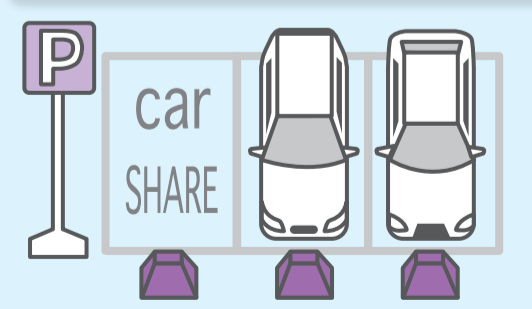
暮らしのメリット 長く大切に着ることで無駄遣いの防止に繋がる

※1年間に購入する服の10%(1.8枚)をリサイクル素材を
使った服にし、購入量を1/4程度にした場合

詳細はこちら



世界初 福岡市では、下水汚泥を処理する過程で発生するバイオ
ガスから水素をつくり、燃料電池自動車(FCV)へ供給する
世界初の水素ステーションを開設しています。



徒歩や自転車での移動

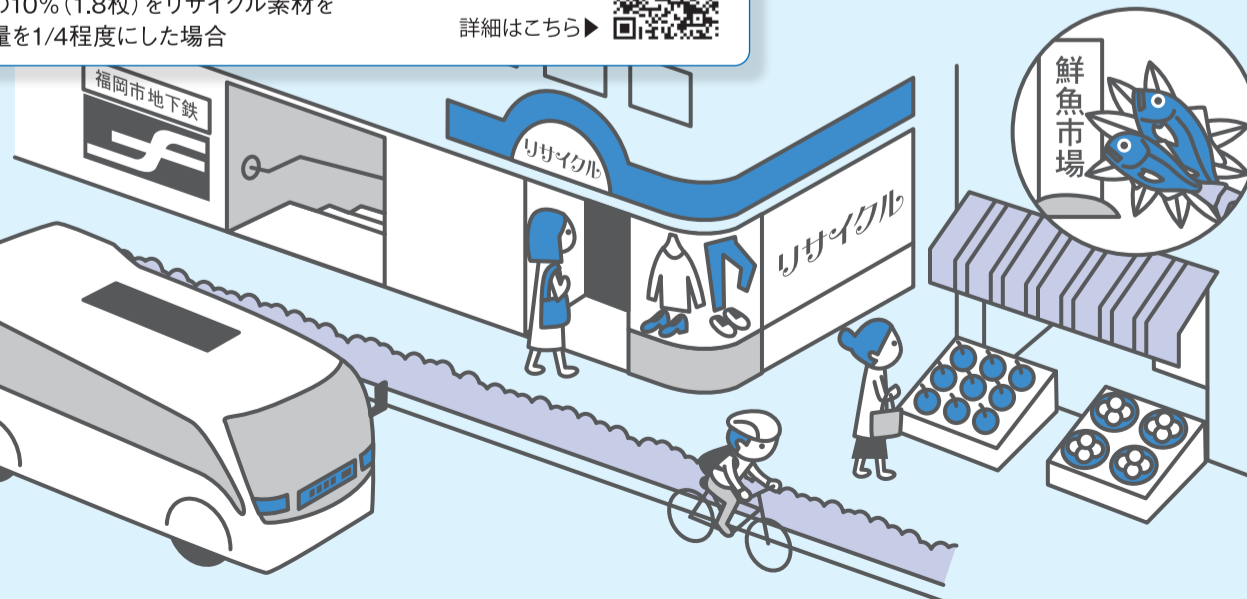
徒歩や自転車、公共交通機関の利用を心掛け
ましょう。

CO₂削減効果 126kg -CO₂/年 DOWN

暮らしのメリット ガソリン代 8,054円/年節約

※片道2km、年間240日の移動を
車から自転車に替えた場合

詳細はこちら



地産地消 4ページ 4

食品配送の距離が短く、輸送にかかるCO₂の
排出量が少ない地元食材を購入しましょう。

CO₂削減効果 368g -CO₂ DOWN

暮らしのメリット 新鮮な食材が手に入る

福岡産 約10km
外国産 約18,000km (仮定)

CO₂ 約2g
CO₂ 約370g

※外国産に替えて国内産の鶏肉1kgを購入した場合

※暮らしのメリットの算出において、設備投資は考慮していません。